

令和6年度 雲南市立掛合中学校 学校経営案

1 学校教育目標

ふるさとを愛し
自他を大切にしながら
たくましく未来を切り拓く生徒の育成

キーワード

《ふるさとへの誇り》《ふるさとのために》
《自己肯定感》《他者への思いやり》《協働》
《主体性》《課題解決》《自己実現》

2 校訓

- 真理の探究
- 勤労の愛好
- 協同の学園

掛中生の信条

- 一、いっしょうけんめい勉強する掛中生
- 一、せいいっぱい働く掛中生
- 一、思いやり深く助け合う掛中生

3 めざす生徒像

- ふるさとへの誇りと愛着をもち行動する生徒
- 自分の良さを認め、多様な他者を価値ある存在として尊重し、協働していく生徒
- 主体的に考え、より良い人生や社会を切り拓いていこうとする生徒

4 めざす学校像

- ふるさとに誇りと愛着をもち、地域の人々とふるさとのために考え行動できる学校
- 自分の良さに気づき、他者の違いを認め合い尊重し、共に成長できる学校
- 生徒主体の学習や活動を大切に、志を抱き生徒の自己実現を支援していく学校

5 めざす教職員像

- 一人一人の生徒の幸せと成長を願い、個に応じた温かく生徒を支援する教職員
- 職務に対する使命感や倫理観があり、指導力や専門性等、自己研鑽に努める教職員
- 地域とともにあるより良い学校づくりを目指し、家庭・地域と連携・協働する教職員

6 学校経営方針

多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓き、様々な課題と向き合いながら持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育成する学校づくりに努める。

7 経営の重点

□は主な具体施策

(1) 未来を拓く確かな学力の育成～「生きる力を育む」

- ①主体的に課題を見つけ、解決しようとする授業改善の取組（主体的・対話的で深い学び）
- ②個に応じた指導の充実（個別最適な学び、特別支援教育の視点、1人1台端末の活用）
- ③キャリア教育の推進による基礎的汎用的能力の育成（総合的な学習の時間・特別活動の充実、「人間関係形成・社会形成」・「課題対応」能力の重点化-各教科との関連づけ）
- ④ICT・学校図書館の効果的な活用
（「基礎基本の定着」「個別最適な学び」「主体的・対話的で深い学び」等）

・1人1授業研究 ・キャリア教育の視点を取り入れた授業構成 ・個別と協働の意識化
・地域素材を取り入れた課題解決学習 ・各種教職員研修の実施と情報共有

(2) 一人一人を大切にされた教育の推進～「居場所づくり」

- ①人権・同和教育、道徳教育を基盤とし、生徒の主体的な活動を大切にされた教育活動の充実～いじめ防止への取組
- ②自分の良さや他者の多様性を認め、お互いを思いやり高め合う温かい人間関係づくり
- ③日々の会話・教育相談・各種アンケート等の実施によるきめ細やかな対応
- ④他機関との連携や専門性を生かした生徒理解に基づく生徒指導・生徒支援の推進

・スリンプルプログラムの実践・生徒主体の「人との関わり・対話」を大切にされた生徒会活動、生徒会朝礼、人権集会・道徳の授業時数確保 ・教育相談、アンケート分析

(3) 特別支援教育の充実～「自立と社会参加」

- ①持てる力を発揮し、自分らしく生きることが出来る個別支援の充実と教育環境の充実
学習・生活上の困難さや教育的ニーズの把握、合理的配慮等必要な支援の検討と実施
- ②生徒理解、小刻みな情報共有等、全教職員で取り組む教育支援体制の構築
- ③自己理解や周囲への理解啓発
- ④研修等による教職員の専門性の向上と人材育成
- ⑤保護者、行政・医療等の専門機関との連携

・特別支援教育に係る組織づくりと運用 ・全職員による合理的配慮等の研修の実施
・保護者連携：情報提供・面談の実施 ・他機関（市・医療等）との連携

(4) 信頼され、愛される学校づくり～「家庭・地域に開かれた学校」

- ①地域とともにある学校づくり
学校運営協議会・校区4校園との「夢」発見プログラムを基軸とした連携
「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育・キャリア教育の充実、地域貢献活動、地域ボランティアの励行、「ごみゼロ大作戦」の工夫・見直し
- ②学習公開や積極的な情報の受発信、生徒の健全育成に向けた家庭・地域との連携・協働の推進
- ③安心安全な学校教育環境の整備、きめ細やかな危機管理体制の構築
- ④部活動や伝統芸能等における、生徒の活躍の場づくりと家庭・地域連携
- ⑤教職員の資質向上 ～「チーム掛中」～
●高い人権感覚・意識をもち、「生きて働く」学力の育成と進路保障に努める。
・教育公務員としての職責の自覚、服務規律の確保、学校財務等の適正な執行
・組織対応・情報共有・連絡報告の徹底
・指導力向上のための教職員研修・校内研究の充実
・働き方改革や共同実施等による校務の効率化による時間の確保
校務の充実、教材研究・授業力向上⇔教職員のワークライフバランスの構築
「活力と魅力ある職場づくり」

・保小高への授業公開・参観の実施 ・月1回の安全点検、環境整備、防災に係る対応
・地域や保護者への発信：地域素材活用、授業公開、「便り・HP」 ・組織、業務見直し